

## 第6回 IT を活用した教育センターワークショップを終えて

昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座  
歯学教育学部門 片岡竜太

平成 24 年度に「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成プログラム」が文部科学省の大学間連携共同事業として採択されてから 2 年 1 ヶ月が経過しました。今年度文科省の中間評価が行われる事が発表されています。単なるアンケート評価ではなく、本取組を通じてどれだけ教育効果が上がったかを数字で評価する事が求められています。

連携校である北海道医療大学ならびに岩手医科大学、各歯科医師会が連携して、超高齢社会で活躍できる歯科医師を養成するために H26 年度連携 3 大学の必修授業で IT 教材を活用した授業を Step 1 (3 年生)、Step 2 (4 年生) として 2 学年の学生に実施しました。

前回同様、連携大学教職員には前日泊していただき、9 時から**セッション 1 : 大学教職員セッション「IT を活用した授業の改善について」**を行いました。このセッションでは 3 連携大学の学生アンケート結果、正答率をデータとして、まず大学教職員だけでどのように授業改善を図るかを討議しました。次に Step 3 (5 年生) における教育内容をディスカッションしました。最後に態度評価としてのポートフォリオの活用について話し合いました。**セッション 2 : 「Step 3 (5 年生に対する) 教育を考える」**から歯科医師会の先生方が参加しました。Step 1、2 で学んだ事を 5 年生が臨床でいかに活用するかについて討議しました。Step 1、2 で学んだ教材を復習用教材としてのライブラリー化、在宅地域医療のビデオ教材の作成歯科医師会でも活用してもらえるような生涯学習教材に発展させていくという方向性も確認されました。また臨床実習で高齢者を担当する場合、3 大学に共通したポートフォリオを活用して、態度評価もおこなっていくなどの意見がでました。次回の WS でこれらの意見を具体化し、実施できればと思います。**セッション 3 : 「平成 26 年度のマスターコンテンツを作成する」**では H26 年度に本取組で作成した e-ラーニング、VP 教材を授業ごとに 3 大学で実施したアンケート結果、正答率を基に改善を図り、H27 年 2 月末の段階で、H26 年度本取組のマスターコンテンツとすることになりました。

皆様方のお陰で 3 連携大学と 9 歯科医師会の取組において、歯車がかみあい、目指すべき方向が決まって、一步一步着実に動き出すことができたという印象を持ちました。患者さんのために、歯科医師会が中心となる生涯学習まで目指すこと、そしてこの教育を受けた学生が主体的にさらに学ぶ事を期待します。

最後になりましたが、参加していただいた各大学の皆様、歯科医師会の先生方、IT 企業の方々、WS の運営にご尽力いただいた本学事務関係者、フォトセンター、総合情報管理センター、IT を活用した教育センターの皆様にご挨拶申し上げます。次回は 6 月 4 日にまたお目にかかることを楽しみにしております。

文部科学省 平成 24～28年度 大学間連携共同教育推進事業

**「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」**

第6回 ITを活用した教育センターワークショップ報告書

平成 26年 11 月

編集発行 ITを活用した教育センター

〒142-8555

東京都品川区旗の台 1-5-8

昭和大学 歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 歯学教育学部門

TEL 03-3784-8157